

経営学の視点から、「行動できるように考える力」を身につける

経営学はひとことで言うと企業におけるヒト、モノ、カネ、情報の管理を扱う学問です。このゼミでは過去から現在にいたる主要な理論、学説を学ぶと同時に、現場でのフィールドワークを通じて「行動できるように考える力」の修得をめざします。かつて日本には、高度成長期と呼ばれる時代がありました。クルマや家電製品といった「モノ」をつくれれば売れていたこの時代、経営学に求められるのは「どうすれば効率よく大量生産できるか」でした。しかし、「モノ」があふれる現代においては、「消費者は何を欲しがっているか」がより重要な課題となっています。経営学は、時代と共に変化する学問です。いま起こっている事をどのように認識し、どのような対策をとるべきかを、状況に応じて考える。ここで大切なのが、「行動できるように考える」こと。考えるだけで動かなければ、何も変わりません。課題を見つけ、考えて、行動する。さまざまな選択を迫られる現代社会において、このような能力はますます重要となるでしょう。



経営学者やその学説についてレクチャー



研究状況についての発表



研究結果はゼミ論集として毎年発行している



中川 淳平 教授

経営学史

日産自動車株式会社横浜工場でのフィールドワーク

生産管理の理論を学ぶうえで、製造業や自動車産業への理解を深める